

平成29年度 学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	「地域に愛され、期待に応える学校」 良好な人間関係に基づき、知力・体力の向上に努め、心豊かで元気な生徒を育成する学校。 さらに、教育活動の成果を礎に進路希望が実現できる学校。
--------	---

重点目標	1 知力・体力の向上を目指す主体的学習態度の育成 2 豊かな心を育む基本的な生活習慣の確立 3 進路実現を図る支援の充実 4 地域・保護者との連携を深めた開かれた学校づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (1 月 3 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	【現状】教員と生徒との関係も概ね良好で、アクティブラーニングを用いた授業改善も進めている。検定前に補習を一ヶ月以上実施し、上位級の合格に結びつけるなど学力向上の取組は軌道に乗りつつある。 【課題】個に応じた学習指導を行い、基礎学力と学習意欲を向上させる。各種検定等の受験を通じて、日常生活に目標を持たせる。部活動への加入を奨励し、学校を活性化させる。	学習意欲を高め、基礎学力を向上させる。	①教員相互の授業観察や研修会を通じて教員の授業力を向上させ、「わかる授業」、「もっと進みたくなる授業」を推進し、学力の定着・向上を目指す。 ②朝学習、タブレット、学習サポーター(教・英・体)、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学ぶ意欲を育成する。 ③年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化を調査する。	①授業公開や研修会を実施できたか。授業満足度80%以上を達成できたか。 ②朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。 ③「授業がわかる」、「授業に満足」の回答80%以上。	①6月と11月に授業公開週間、11月に公開研究授業、12月に研修会を行い、教員の授業力向上に努めた。 ②朝学習、学習サポーター、新聞を効果的に活用できた。タブレットも一部の授業で使用できた。 ③「授業がわかる」、「授業に満足」と回答した生徒はそれぞれ76%、72%であった。	B
		生徒に積極的な学校生活を送らせ、高校生活の満足度を85%以上にする。	①各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。 ②部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に取り組み、生徒の自立心と協調性を育成する。 ③部活動の加入率約60%を維持する。また、運動部は年間を通して単独で大会に出場する。	①検定試験の受験状況、資格取得状況。 ②学校生活への満足度が上昇したか。 ③年間を通じて加入率約60%を維持できたか。各種大会に単独チームで出場できたか。	①資格取得については、昨年度のような顕著な実績は見られないが、特に2学年において全体的な合格率の向上が見られた。 ②本校への満足度は、生徒約79%、保護者約97%であり、昨年度より向上した。 ③6月は60%を超えていたが、12月には56%に減少した。単独チーム参加は実現できた。	A
2	【現状】挨拶運動や登校指導が良い雰囲気を作っている。教室の美化も改善されてきた。規律を守る態度が醸成され遅刻者が減少した。体験活動や社会貢献活動に積極的に参加している。 【課題】基本的な生活習慣の確立に向け、組織的に指導を行う必要がある。体験活動や社会貢献活動により多くの生徒が参加したくなるような雰囲気を作る。	基本的な生活習慣を確立させ、規律ある態度を身に付けさせる。	①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。 ②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で挨拶ができる生徒を増やす。 ③TPOに応じた服装指導等を学校全体で行う。	①「ルールを守らせる指導」、「整理整頓」の回答90%以上。 ②朝の挨拶運動はしっかり行えた。「挨拶をする」の回答77%であった。 ③生徒指導部を中心に学年団と連携し、組織的に取り組めたか。	①「ルールを守らせる指導」90%、「整理整頓」85%であった。 ②朝の挨拶運動はしっかり行えた。「挨拶をする」の回答77%であった。 ③生徒指導部を中心に学年団と連携し、組織的に取り組めた。	A
		体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心を醸成する。	①「自分発見 高校生感動体験プログラム事業」を活用した社会貢献活動により、社会との関わりを多く体験させる。 ②市や市商工会からのボランティア要請に10回以上応え、協力する生徒をのべ48名以上にする(HDK48作戦)。 ③東北復興ボランティアを2泊3日で実施する。 ④地元小学校との交流や見守り活動を年3回実施する。	①生徒全員が何らかの社会貢献活動を実施できたか。 ②10回以上、のべ48名以上協力できたか。 ③30名程度参加で実施できたか。 ④小学校との連携回数とその内容。	①地域の清掃活動を全校生徒で取り組むことができた。 ②11回実施し、のべ128名の生徒が参加した。自己有用感や満足感を高めることができた。 ③東北復興支援ボランティアに30名の生徒が参加した。 ④近隣の小学校の下校見守り活動を年3回実施できた。	A
3	【現状】丁寧に生徒を指導した結果良い進路結果が得られた。入学して良かったと回答した生徒が80%を超えている。 【課題】キャリア教育をより充実させ、就労意識を高める。学習指導と同様に個に応じた進路指導を行う。	計画的・組織的な進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。	①3年間を見通した進路計画を策定し指導をしているが、さらに見直しを図りながら生徒に適した進路指導を実施する。 ②キャリア教育講演会を年3回実施し、生徒の進路意識を向上させる。 ③保護者対象の進路行事や情報発信を工夫することで、家庭の理解や協力をさらに強固にする。 ④生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。	①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。 ②内容のある講演会が3回実施できたか。 ③文書や一斉メールを活用できたか。 ④参加回数とその内容。	①各学年とも計画的かつ組織的に指導できた。進学準備、自己開拓による求職者を除き、全員の進路を確定できた。 ②各回ともそれぞれのテーマ設定に基づき、適切な内容の講演会が3回実施できた。 ③文化祭で保護者向けの進路講演会を新規で実施した。一斉メールを活用して、保護者に参加を呼び掛けた。 ④合同企業説明会に生徒を派遣できた。	A
		保護者の本校への理解度を向上させ、PTA活動をより充実させる。	①PTAだよりを年3回発行し、保護者への広報に努めるとともにホームページにも掲載する。 ②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。 ③PTA理事会を通じて保護者同士のネットワークを構築し、保護者の学校行事への支援と参加を呼びかける。	①PTAだよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。 ②一斉配信メール登録者70%以上。配信回数年間50回以上。 ③昨年度と比べて参加者が増加したか。	①PTAだよりを年3回発行できた。ホームページにも掲載できた。 ②一斉メール登録者は約70%、配信回数は年間55回であった。 ③文化祭などの学校行事に昨年度とほぼ同数の保護者が参加した。さらなる参加の呼びかけが課題である。	A
4	【現状】PTA活動の参加者が増加している。中学校の出前授業は好評であった。生徒会生徒による駅前での募金活動や清掃活動は地域の信頼を厚くした。 【課題】アンケート等では本校理解度は高まりつつある。本校の魅力をさらに発信し、生徒募集につなげる。	保護者の本校への理解度を向上させ、PTA活動をより充実させる。	①ホームページの更新回数年間280回、アクセス数平均770件、「日高高校だより」年6回発行を目標とする。 ②学校説明会・体験入学会・イブニングミーティングを計9回実施する。また、進学フェア等へ積極的に参加し生徒募集につなげる。 ③授業公開2回、出前授業3回、公開講座8講座を目標に実施し、地域や地元小中学校との連携を深めることで、本校の理解度を高める。	①学校全体で協力し達成できたか。 ②学校説明会等への参加者が増加し、参加満足度が高まったか。 ③各取組の実施状況とその内容。	①ホームページの年間更新回数は280回を超えた。アクセス数平均約900件、「日高高校だより」は年6回発行できた。 ②学校説明会等への参加者は、昨年度比約2割増であった。複数回参加する中学生もおり、本校のPR活動を十分行えた。 ③授業公開2回、出前授業3回、公開講座8回達成できた。地域や地元小中学校との連携を密に行い、本校の理解度を深められた。	A
		積極的な情報発信により、本校の今を正しく伝え、本校理解度を高め、志願者数を増やす。				

学校関係者評価
実施日 平成30年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等
○先生方が元気で、良い授業を展開している。 ○アクティブラーニングにも積極的に取り組んでいる様子が伺えた。 ○地理の授業と美術の授業のコラボレーションは、非常に良かった。 ○家庭学習を充実させることが課題である。 ○学校への満足度が高いということは、生徒が学校へ行くのが楽しいと感じている表れである。
○挨拶運動は継続することが大事である。 ○教室内がずいぶんきれいになった。 ○教室内にクラスの生徒が写った写真が貼っており、自己有用感を高める工夫がされている。 ○制服の着こなしが良くなった。服装指導が行き届いていると感じる。
○生徒一人一人の実態に即した進路指導ができています。 ○学校への満足度が高いのは、進路指導が充実している点も含まれているのだろう。
○学校のPR活動を十分行えていると感じる。 ○日高市唯一の高校なので、地域の期待を集めている。 ○今後も日高高校がさらに良くなるように取り組み、地域からの期待をより一層集めてほしい。